



名古屋国税局課税第二部長

村井節也

7月の人事異動で名古屋国税局課税第二部長を拝命いたしました村井でございます。

名古屋国税局は、はじめての勤務となりますが、岐阜県における地場産業の活性化の状況や「ソフトピアジャパン」を中心とした「スイートバレー構想」など管内の状況を十分に勉強させていただきたいと思っております。

私は、今までの経験において法人会の税務行政における役割の重要性につきましては十分に認識しており、日頃から広く税知識の普及と納税道義の高揚に積極的に取り組んでおられる皆様を非常に心強く感じております。

特に岐阜県法人会連合会におかれましては、会員のニーズに沿った経済講演会や税務研修会を開催し、会員の積極的な自己啓発を支援しているほか、地域に密着した活動を通じて広く社会へ貢献をするなど幅広い活動を積極的に展開されておられます。

また、PR活動の一環として、岐阜新聞に「ザ・法人会」のタイトルで法人会の事業内容や社会貢献活動を紹介するなど広報活動にも積極的に取り組まれており、組織面においては全国的に加入率が低下傾向にある中で、各部会との連携を密にして高い加入率を維持しておられます。

このような法人会の活動に対する多大なご尽力に深く敬意を表するとともに、更なる飛躍を遂げられることを期待しております。

ところで、国際化、IT化の進展など社会情勢の変化に伴い、最近の税務行政を取り巻く環境も大きく変わってきております。国税庁におきましては、約40年ぶりに所得税の確定申告書の様式を抜本的に改正を行い、平成13年分の確定申告から使用していただくこととしました。また、従来 of 書面による申告手続きに加え、電子申告について平成15年からの導入に向けて、現在準備を進めているところであります。

このような中で、私どもといたしましては、「適正公平な課税の実現」、「期限内収納の確保」という税務行政の変わらぬ目標に向けて、従来にも増して時代に即した的確な対応が必要かと考えております。どうか今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

法人会につきましては、公益法人としての社会的な貢献に対する要請がこれからも高まってくるものと思われまます。皆様におかれましては、今後とも一段と魅力ある活動を展開され、地域社会のリーダーとして、また信頼される公益法人としての自覚と誇りを持って地域社会の発展のために引き続きご尽力していただきたいと思ひます。私どもといたしましても、できる限りの支援をさせていただきます。

終わりに、社団法人岐阜県法人会連合会及び傘下の各単位会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝並びに事業のご繁栄を祈念し、引き続き税務当局に村する一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。